

## -ホッカイトウキ-



図 1. ホッカイトウキ (東京理科大学植物園)



図 2. 当帰 (生薬標本室)



図 3. 類似植物トウキ (東京理科大学植物園)

撮影日 2021. 5. 21

基原植物学名 : *Angelica acutiloba* Kitagawa var. *sugiyamae* Hikino (図 1)

科名 : セリ科 属名 : シシウド属

特徴※ : 葉は互生し、1~2 回 3 出羽状複葉。小葉は 2~3 深裂。裂片は披針形。鋭鋸歯。葉の上面に濃緑色でつやあり。高さ 40~90 cm。複散形花序を頂生。多数の白色の小花をつける。全体に独特な芳香がある。

薬用部位※ : 根 (通例、根を湯通ししたもの)

生薬和名※ : トウキ (当帰) (図 2) 主要成分※ : リグスチリド

主な薬効※ : 強壯、鎮静、鎮痛、補血 漢方処方※ : 清暑益気湯、当帰湯、当帰芍薬散 等

※トウキの項参照

ホッカイトウキ (図 1) とトウキ (図 3) の違い :

トウキにはオオブカトウキとホッカイトウキの二つの系統がある。普通、トウキと呼ばれるものは「オオブカトウキ」で奈良・和歌山県境に近い「大深」地方にちなむ。江戸時代からは「ヤマトトウキ (大和当帰)」として知られていた。一方ホッカイトウキとは、明治以降、北海道に導入された栽培種である。

ホッカイトウキ (図 1)	形態の違い	トウキ (図 3)
緑	茎色	赤紫
広い	葉型	細い
淡緑色	葉色	暗緑色
分岐根は少なく太い。色は淡い黄褐色。	根	分岐根は多く細い。色は黄褐色~赤褐色。

### 【参考文献】

・ 日本薬局方 医薬品各条生薬等 <https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/000680560.pdf>

・ 生薬単 改訂第 3 版 伊藤美千穂・北山隆監修 原島広至著 丸善雄松堂

・ 一般社団法人全国農業改良普及支援協会 | トウキ栽培の実際について

[https://www.jadea.org/houkokusho/yakuyou/documents/H31yakuyou\\_toukai\\_kink\\_k03.pdf](https://www.jadea.org/houkokusho/yakuyou/documents/H31yakuyou_toukai_kink_k03.pdf)

2021/5/24/4YP/M.N